

## 青森県におけるオオカラモズの初記録

阿部誠一

〒035-0083 青森県むつ市大平町43-1

オオカラモズ *Lanius sphenocercus* は、ウスリー・モンゴル・中国北東部で繁殖し、冬期は中国南東部・朝鮮半島に渡る。日本では数少ない冬鳥として渡来し、広い農耕地、草や低木のある干拓地等にすみ、電線や枯れ枝、杭等にとまって獲物を探す。これまで、山口県(石井 1983)、岡山県(森本ほか 1985)、兵庫県(岡安 1987)、新潟県(近藤 1993)、高知県(清棲 1978)、大分県や愛知県(五百沢ほか 2000)など、おもに西日本や日本海側での記録がある。東北地方では、1993年 2月27日と2002年12月22日から2003年 1月18日に秋田県大潟村で観察され、日本野鳥の会秋田県支部報に報告されているが(佐々木・佐々木 2003a, b)、論文としてまとめられたものはない。今回、2002年11月17日青森県むつ市(41° 16' N, 141° 15' E)において本種を確認、撮影することができた。本県での初記録であるとともに、東北地方でもきわめて貴重な記録なので報告する。

本個体は、青森県むつ市街地から南東部に広がる水田地帯で、2002年11月13日に日本野鳥の会青森県支部下北野鳥の会の安野ゆき子・航によって観察された。しかし、この日は天候と光線の条件が悪く、オオモズ *L. excubitor* かオオカラモズかは断定できなかった。この連絡を受けた筆者は、14日と16日にこの付近一帯を探したが確認できなかった。17日に再度訪れたところ、15:30頃に13日に観察された付近でオオモズかオオカラモズと考えられる大型のモズを確認した(図 1)。



図 1. 青森県むつ市で観察されたオオカラモズ

Fig. 1. The Chinese Great Grey Shrike observed at Mutsu city.

2003年 8月13日 受理

キーワード: 青森県, オオカラモズ, 飛来記録

本論文のカラー写真を <http://www.wbsj.org/nature/database/strix/22/abe.html> でみることができます。

約10mの木の上部に止まっていた本個体は、初列風切にある白斑が大きく、体部に対し、尾が長く感じた。その後、近づいて観察すると、初列風切と次列風切の基部および次列風切と三列風切の先端が白かった。オオモズの極東に生息する亜種は、初列風切の基部の白斑のみが目立つので、白斑部の違いを確認することができ、本個体はオオカラモズであると判断した。また、同日の16:00頃に、下北野鳥の会の今兼四郎が観察位置より約500m東側で本個体を確認し、撮影している。その後、11月27日までは確認されたが、以後は12月7日、14日、23日、28日に周辺一帯を探索したがオオカラモズを確認することはできなかった。

この間の観察では、長い距離を一気に移動したり、停空飛翔をして獲物をねらったりしていた。ネズミの仲間と思われる獲物の捕獲を観察したが、種は不明であった。灌木の小枝の最上部によくとまっていたが、約10mの高さの電線にとまったこともあった。ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos* やハシボソガラス *C. corone* に追いかけられることがあった。また、4羽のハクセキレイ *Motacilla alba* に追いかけているのを観察した。

本個体が生息していた一帯は、東西約1.5kmで南北約4kmの南北に細長い水田地帯となっている。しかし、最近では休耕地が全体の約8割を占めている。また、一部は建設資材置き場に利用されている。なお、本個体を確認した付近では、1981年12月12日にオオモズ1羽を確認している。

## 引用文献

- 五百沢日丸・山形則男・吉野俊幸. 2000. 日本の鳥550山野の鳥. 文一総合出版, 東京.
- 石井鶴三. 1983. 野鳥情報・観察記録. *Strix* 5: 89-98.
- 岡安政則. 1987. 野鳥情報・観察記録. *Strix* 7: 305-308.
- 清棲幸保. 1978. 増補改訂版日本鳥類大図鑑 I. 講談社, 東京.
- 近藤健一郎. 1993. 佐渡島で越冬したオオカラモズ. *Strix* 12: 248-251.
- 佐々木均・あさ子. 2003a. オオカラモズの発見から撮影までの経緯. 日本野鳥の会秋田県支部報探鳥あきた (46): 22-23.
- 佐々木均・あさ子. 2003b. オオカラモズ余録. 日本野鳥の会秋田県支部報探鳥あきた (46): 24.
- 森本章男ほか. 1985. 野鳥情報・観察記録. *Strix* 6: 110-118.

First record of Chinese Great Grey Shrike in Aomori prefecture, northern Japan

Seiichi Abe

43-1 Ohira-machi, Mutsu, Aomori 035-0083, Japan

A Chinese Great Grey Shrike *Lanius sphenocercus* was observed in Mutsu city (41°16'N, 141°15'E) on November 17, 2002. This is the first record of Chinese Great Grey Shrike in Aomori prefecture.

*Key words:* Aomori prefecture, Chinese Great Grey Shrike, *Lanius sphenocercus*